

飛騨高山までの所要時間



飛騨高山までの
アクセス方法

マイカーの場合

- ・東京→高山
約4時間20分
- ・大阪→高山
約4時間
- ・名古屋→高山
約2時間5分

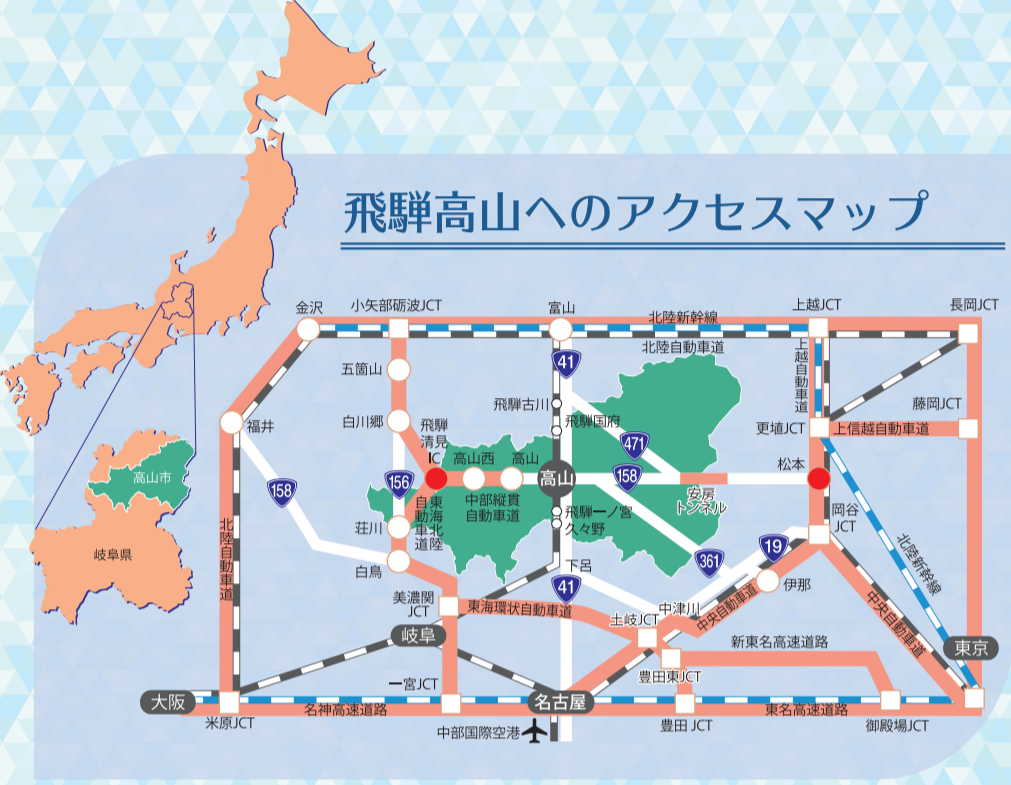
鉄道利用の場合

- ・東京→高山
約4時間5分
- ・大阪→高山
約3時間10分
- ・名古屋→高山
約2時間20分

高速バス利用の場合

- ・東京→高山
約5時間30分
- ・大阪→高山
約5時間30分
- ・名古屋→高山
約2時間45分

飛騨高山へのアクセスマップ



(一社)飛騨高山観光コンベンション協会
TEL0577-36-1011

高山市観光連絡協議会発行(2022.11)

冬Trip 飛騨高山



新穂高温泉 中尾高原白山神社境内
毎年2月1日頃～10日頃
獅子舞の美演 2023年2月1日、4日、10日
界をお楽しみ下さい。

新穂高温泉中尾高原の白山神社境内に大
小様々ななかまくらが登場。木々に囲まれた
神秘的な境内ととも灯りが灯された幻想
的な美しさです。会場近くには公共露天風呂
「荒神の湯」があり、ユイトップの見学後
は雪見風呂を楽しむこともできます。



⑤中尾かまくらまつり

栃尾温泉 河谷一帯
毎年12月下旬～2月末

河谷の雪景色をLED鮮やかにユイトッ
帯のように見える現象のことをいいます。実際には山奥
の滝・親水公園一帯にて「タルマカネ」を
おりユイトップを開催。凍てついた「た
で見られない自然の産物を、沢の水を温泉街の木々
に噴霧し、福地温泉街で青たるを再現。美しい青のク
ラフィッシュに包まれた雪の散策道はとも幻想的。郷土
芸能「ハムベリ」と併せて冬の祭典を楽しめます。



④河谷雪桜ユイトップ

福地温泉 J/A 又停付近
毎年12月下旬～3月下旬
氷の散歩道ユイトップ 2023年2月3日～13日
[ハムベリ]美演 2023年2月10日～12日

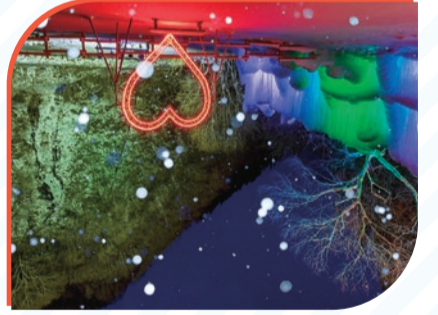
青たるとは岩から滴り落ちる水が凍りついて、青い水
の滝・親水公園一帯にて「タルマカネ」を
おりユイトップを開催。凍てついた「た
で見られない自然の産物を、沢の水を温泉街の木々
に噴霧し、福地温泉街で青たるを再現。美しい青のク
ラフィッシュに包まれた雪の散策道はとも幻想的。郷土
芸能「ハムベリ」と併せて冬の祭典を楽しめます。



③福地温泉 青たる

新平湯温泉 親水公園
毎年12月下旬～2月末

新平湯温泉では、新平湯の名所であるタル
マカネの滝・親水公園一帯にて「タルマカネ」を
おりユイトップを開催。凍てついた「た
で見られない自然の産物を、沢の水を温泉街の木々
に噴霧し、福地温泉街で青たるを再現。美しい青のク
ラフィッシュに包まれた雪の散策道はとも幻想的。郷土
芸能「ハムベリ」と併せて冬の祭典を楽しめます。



②タルマカネこおりユイトップ

平湯温泉 平湯大滝
毎年2月中旬～2月下旬

奥飛騨温泉郷では、平湯・福地・新平湯・栃
尾・新穂高の全エリアにおいて、12月下
旬～3月上旬にかけて「奥飛騨冬物語」と
題した様々なイベントが開催されます。
厳冬の雪国に広がる、あたたか幻想的
な世界。温泉だけではなく、奥飛騨の冬
の魅力を感じたいに体感してください。



①平湯大滝結氷まつり



奥飛騨温泉郷観光協会
Tel.0578-89-2614

奥飛騨冬物語



奥飛騨温泉郷とは
北アルプスの麓、平湯温泉・福地温
泉・新平湯温泉・栃尾温泉・新穂高温
泉という5つの温泉地から成る奥飛騨
温泉郷。山ならではの郷愁を誘う風
情と、湯量豊富な天然温泉を利用した
日本と異なる露天風呂の数。冬な
らでの絶景と雪見風呂を堪能しに、
奥飛騨冬物語へ出かけよう。



師走の大祓いと禊神事

真冬の行水によって、今年1年の厄落としや無病息災を祈願する神事。厳しい寒さの中、男性は下帯に鉢巻き姿、女性は白装束を身にまとい、水温約4度前後の川で身を切るような冷たさに耐えて身を清めます。川岸では、家族らが厄落としのための人形（ひとがた）を流して見守ります。神事は、氏子だけでなく地元以外からも広く参加できます。

毎年12月30日

阿多由太神社

高山市国府支所 Tel.0577-72-3111



年の瀬市

年末の風物詩、年の瀬市。飛騨のお正月に欠かせない、松飾りやしめ縄、花餅が並び、縁起物を求めて陣屋前朝市がいつもにまして賑わいます。

毎年12月27日～31日

陣屋前朝市

高山市観光課 Tel.0577-32-3333



冬の飛騨高山ライトアップ

静けさが深まる冬の夜、降り積もる雪の中に赤い中橋が浮かび上がる。冬ならではの幻想的な光景を見に、夜の散歩へ出かけよう。

毎年12月1日～2月末まで

宮川 中橋周辺

飛騨・高山観光コンベンション協会
Tel.0577-36-1011



ぶり街道祭り

飛騨の年越しに欠かせない食材、鱈。かつて富山から飛騨、信州へとぶりが運ばれる道を「ぶり街道」と呼んでいました。ぶり街道祭りでは、海鮮市場や汐ぶりの解体ショーを開催。飛騨の山奥で海の幸をお楽しみください。

毎年12月第2日曜

道の駅ひだ朝日村

道の駅ひだ朝日村 Tel.0577-55-3777



氷点下の森

市街地から車で約1時間、そこは氷の妖精が住む森。木々に水をかけて作りだした巨大な氷柱はどこまでも青く透きとおり、寒さを忘れる美しさです。特に冷え込む日には、シャボン玉を吹いて凍らせる体験もできます。夜間にはライトアップも行い、昼夜問わず楽しめる場所です。

毎年1月1日～2月末

氷点下の森

飛騨あさひ観光協会 Tel.0577-55-3777



飛騨大鍾乳洞 氷の渓谷

澄んだ水と真冬の寒さが作り出す、高さ30mもの大きな氷柱。2月土曜日にはライトアップも開催され、幻想的な世界が広がります。

毎年1月1日～3月10日

飛騨大鍾乳洞

飛騨大鍾乳洞 Tel.0577-79-2211



管粥神事(くだがいしんじ)

約600年前から丹生川町旗鉾に伝わる神事です。古い事を記した木札をつけた短い麻の茎を粥と一緒に炊き、麻の茎に詰まった粥の入り具合から1年の吉兆を占います。占内容は農作物の作況や社会景気など140項目にも渡ります。神事後は参加者に粥が振る舞われる習わしで、この粥を食べると1年間無病息災で過ごせると伝わります。

毎年1月14日

伊太祓曾神社(いたきそじんじや)

飛騨乗鞍観光協会 Tel.0577-78-2345



二十四日市

毎年1月24日に開かれる飛騨高山の冬の風物詩。旧暦時代には12月24日に開かれており、農家が作った竹かご、笠、まき、炭、みのなどの日用品を町の人に売ったのが始まりでした。現在は中心商店街の本町通りと安川通りで行われ、しょうけ(ざる)や宮笠、有道しゃくしなどの民芸品や、地元のグルメなどの露店が並び、毎年大勢の買い物客で賑わいます。

毎年1月24日

本町通り、安川通り

高山市観光課 Tel.0577-32-3333



節分祭

鬼は外～福は内～の声が響く節分祭。各神社やお寺、商店街で厄除けの節分祭が行われます。町中で鬼や七福神に出会うかも。

毎年2月3日

飛騨国分寺、飛騨の里、飛騨一之宮水無神社ほか

高山市観光課 Tel.0577-32-3333



久々野雪上迷路

見渡す限り白銀のグラウンドに、雪と500本ものロウソクを使って作られた巨大迷路。ゴールを目指して走り回るうちに寒さも忘れてポカポカに。

毎年1月下旬～2月上旬の土曜日
(年によって異なる)

久々野総合運動公園

NPO法人ふるさと Tel.0577-52-3559

